



# ALSOプロバイダーコース

～愛仁会千船病院～



**Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)**とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利は**American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)**によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国、16万人以上がALSOコースを完了した。

プロバイダーコースは二日間で行われる。コースの内容は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。ALSOは分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調している。2012年からteamSTEPSを導入しており、産科診療のみならずチームトレーニングを学ぶことができるコースである。更には既に欧米で広く行われているバンドルが2024年からコース内に組み込まれた。座学、グループディスカッションによる症例検討、実技(補助経膈分娩、肩甲難産、骨盤位分娩、分娩時異常出血)を世界標準の医療安全を用いて学ぶことができる。個人の記憶や技量に頼る診療ではなく、チームワークで母児の安全を守るコース、それがチームALSOである。

**プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合受講者はAAFPの認定する3年間有効の認証を受けられる。**また、プロバイダーコースの講師になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国38の都道府県でコースが開催され、12,617名(2024年09月30日時点)がコースを修了した。参加者は**産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生**などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、**産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。**まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSO である。

ALSO-Japan事業執行部

第18回千船 ALSO プロバイダーコース  
受講申し込み

主催:社会医療法人愛仁会千船病院  
共催:NPO法人 周生期医療支援機構(OPPIC)  
場所:愛仁会千船病院 9F研修室(大阪市西淀川区福町3丁目2番39号)  
<https://www.chibune.aijinkai.or.jp/>  
日程:2026年08月08日(土)、09日(日) ※2日間コースです  
定員:36名(近畿地方の方を優先いたします) ※先着順ではありません  
受講料:40,000円 ※支払方法は受講可否とあわせて通知します。  
※振り込まれた受講料は、コース開催中止時を除き、返金できません。

感染拡大状況により開催が中止または延期となることがあります。

開催時の当院のルールに従った感染対策下での開催となりますので、ご協力ください。

●申込方法

受講予定のコースの下記URL(Google form)またはQRコードよりお申込みください。

受講申込: <https://forms.gle/EdCc9SuPGSbQUmT98>



記入事項不備の場合は申込みを受理できません。お申込み後に自動返信メールを送信致します。自動返信メールが届かない場合は、申込みが完了していない可能性がありますので、再度入力して頂くか、下記までお問い合わせください。

●**受講希望申込期間:2026年04月10日(金)00:00~2026年04月30日(木)23:59まで**

05月01日~05月11日の間に受講可否をご連絡いたします。期日を過ぎても受講可否のメールが来ない場合は、下記までメールでお問合せください。

【問い合わせ先】

社会医療法人愛仁会千船病院 産婦人科 岡田十三

E-mail: [juzo.okada@gmail.com](mailto:juzo.okada@gmail.com)

第18回千船病院ALSOプロバイダーコース スケジュール ver1 ※若干変更の可能性がります

2026年08月08日 (土) DAY1

08 : 40-08 : 55	受講者受付
09 : 00-09 : 10 (10分)	オープニング
09 : 10-10 : 00 (50分)	講義 L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性
10 : 00-10 : 10 (10分)	休憩
10 : 10-11 : 30 (80分)	症例検討 (グループディスカッション) E:Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例
11 : 30-11 : 40 (10分)	休憩
11 : 40-12 : 10 (30分)	講義 A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
12 : 10-12 : 20 (10分)	休憩
12 : 20-12 : 50 (30分)	講義 F: Labor Dystocia 難産
12 : 50-13 : 45 (55分)	ランチ 講義13:05-13:35 (30分) C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
13 : 45-14 : 05 (20分)	講義 バンドルレクチャー
14 : 05-14 : 25 (20分)	バンドルワーク
14 : 25-14 : 35 (10分)	休憩
14 : 35-15 : 35 (60分)	実技 H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膈分娩 (基本スキル35分+チーム25分)
15 : 35-15 : 40 (5分)	休憩
15 : 40-16 : 50 (70分)	実技 I: Shoulder Dystocia 肩甲難産 (基本スキル35分+チーム25分+バンドルワーク③10分)
16 : 50-16 : 55 (5分)	休憩
16 : 55-17 : 30 (35分)	実技 G: Malpresentations プレゼンテーション異常・ポジション異常 (実技30分+バンドルワーク④10分)
17 : 30-17 : 40 (10分)	休憩
17 : 40-18 : 10 (30分)	特別講演:『医療安全に根ざした当院分娩再開の試行錯誤』 講師:黒田敬史先生 (小樽協会病院 産婦人科部長 兼 医療安全管理室長)
18 : 10-18 : 25 (15分)	1日目クロージング

2026年08月09日 (日) DAY2

08 : 00-08 : 30 (30分)	経膈分娩介助・復習・質問コーナー (自由参加)
08 : 30-08 : 50 (20分)	2日目オープニング
08 : 50-09 : 00 (10分)	移動
09 : 00-09 : 30 (30分)	講義 D: Preterm Labor & PROM 早産と前期破水
09 : 30-09 : 40 (10分)	休憩
09 : 40-11 : 00 (80分)	症例検討 (グループディスカッション) B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例
11 : 00-11 : 10 (10分)	バンドルワーク⑤妊娠中の痙攣
11 : 10-11 : 20 (10分)	休憩
11 : 20-11 : 50 (30分)	講義 第1印象とプライマリーサーバイ (K:Maternal Resuscitaion 妊婦蘇生)、バンドルワーク⑥羊水塞栓
11 : 50-12 : 30 (40分)	ランチ
12 : 30-13 : 50 (80分)	実技 J: Post Partum Hemorrhage 分娩後異常出血
13 : 50-14 : 05 (15分)	休憩・チームトライアルブリーフィング
14 : 05-16 : 15 (130分)	Written Examination & Megadelivery (筆記試験と実技試験)
16 : 15-16 : 25 (10分)	写真撮影
16 : 25-16 : 45 (20分)	クロージング closing remarks 終了後解散

事前学習として下記の e-learning があります。

レクチャー(各約 30 分)	妊娠初期の合併症/妊娠期の内科的合併症/妊娠後期の性器出血/ 早産と前期破水/分娩中の胎児監視/難産/プレゼンテーション異常、 ポジション異常、多胎/補助経膈分娩/肩甲難産/分娩時異常出血/ 母体の心肺蘇生および外傷/マタニティケアの安全性
実技動画	補助経膈分娩/肩甲難産/分娩時異常出血/妊婦蘇生